

アメリカ留学報告レポート

アメリカ アラバマ州 大津俊輔

2024年8月から2025年5月までの約10か月、アメリカのアラバマ州でホームステイをしながら現地の高校に留学してきました。

僕が通っていたのは PELL CITY HIGH SCHOOL という公立高校です。

PELL CITY HIGH SCHOOL はとにかく大きい高校でした。授業ごとに教室が変わるのではじめは教室の場所を覚えるのが大変で、いろんな人に聞きながら教室に行っていました。あと高校には野球のフィールドが2つ、アメリカンフットボールのフィールドが1つ、ジムが2つととても広い敷地でした。野球のフィールドは人工芝、アメリカンフットボールのフィールドはテレビで見るとようなもので、公立高校のフィールドとはとても思えませんでした。

学校までは僕はホストが車で送ってくれましたが、現地の高校生たちは16才から自分の運転で登校していました。

時間割は毎日同じでした。英語、数学、アメリカンヒストリーは必修でそれ以外は自由に選んでよく、ぼくは犯罪学とワークアウト（ジムでトレーニング）の授業をとっていました。学校には日本人は僕一人でした。アメリカンヒストリーの時間に、第二次世界大戦の話になって「しゅんすけはどう思う？」と聞かれました。なにも答えることが出来なくて、悔しかったです。留学前に知っておけばよかったと思いました。

日本人いじりのようなことも毎日ありました。最初は驚きましたが、だんだん慣れてくると、相手も別に悪気があるわけではないということが分かって来ました。現地の人にとってはアメリカンジョークというかコミュニケーションの1つで、僕もジョークを言い返したりして、笑いあったりしました。僕が帰国する時には「お前が居なくなるなんてさみしいよ」と言われました。

アメリカではアメリカンフットボールがダントツの1番の人気の、高校の試合でも観戦チケットは5ドル。在校生は3ドルでした。野球とバスケットはその次に人気という感じでした。高校の野球部に入ろうと思ってトライアウトも受かったのですが、ホストママの反対があって野球部ではなくサッカー部に入部しました。先輩・後輩はあまり関係なくチームメイト同士はとても仲が良かったです。僕もサッカー部で1番仲が良かったのは1つ学年がしたの子でした。練習は先生はいるときはちゃんとやるけど、先生がいないときはサボりがちで、これは日本と同じだなあと思いました。初めて出た試合でハットトリックを決めて、うれしかったです。

埼玉県のアピールで、狭山茶のティーバッグと、埼玉県はうどん県ということで焼うどんのレトルトのセットを持っていました。

アメリカ留学報告レポート

アメリカ アラバマ州 大津俊輔

狭山茶はホストママがとても気に入ってくれて、毎朝飲んでくれました。僕にもお茶を用意してくれました。

焼うどんの方は、あんまりでした。ホストファミリーには魚を食べる習慣があまりなく、食べるときはフライにして食べていました。なので、日本の出汁の風味が苦手だったのかも知れません。別の日にホストママがご飯を炊いてくれたので、そこに醤油をかけてホストとホストママにも食べてもらいました。醤油はおいしいと言っていました。

10か月留学とホームステイでホストファミリーと本当に仲良くなれました。僕はアメリカにもう一つ家族が出来たと思っています。僕のホストが「シニアトリップで日本に行こうかな」と言ってくれました。もし本当に来てくれたら、日本と埼玉のいいところをたくさんホストに伝えたいと思います。

いただいた奨学金はアメリカでの毎月の生活費になりました。本当にありがとうございました。

ホストパパにはホストファミリーの家から通える大学に進学しないかと誘われました。この大学に進学するかは分からないけれど、これからも勉強して日本とアメリカをつなぐような仕事ができたらいいなと思っています。



ホストの卒業式にホストファミリーと一緒に



プロムパーティーに学校の友人と